

首都直下地震に備え「首都直下地震防災訓練」を実施

令和4年11月17日(木)に大宮国道事務所にて、首都直下地震を想定した「首都直下地震防災訓練(実働訓練)」を実施しました。

首都直下地震が発生した場合、通信障害が発生し、迅速な情報収集が困難となる恐れがあります。

そのため関係機関と連携し、公共の通信手段を使用せず、国土交通省が配備している様々な防災通信機器による通信を試行し、使用方法や通信精度等を確認、今後の首都直下地震に備えました。

さらに今回の訓練では、災害協定会社と連携し、ドローンによる被害状況調査を想定した飛行及び通信訓練を実施しました。

首都直下地震発生時における円滑な災害対応のため、災害に強い通信網や円滑な運用体制の確保に努めていきます。

災害対策室への参集は、一部の職員に限定し、感染拡大リスクを最小限としました。

WEB会議システムや国土交通省映像共有システムを活用し、情報共有をリアルタイムで実施しました。



災害対策室の様子



WEB会議での情報共有の様子

災害協定会社と連携し、ドローンの飛行及び通信訓練を実施しました。

ku-sat II 及び K- λ による衛星通信回線を利用したドローン映像の伝送、情報共有を実施しました。



ドローンによる被害状況調査訓練の様子



衛星通信装置 ku-sat II (右)
デジタル陸上移動通信システム K- λ (左)